

「ぶらーり 専務理事の会社訪問」



菊地鋳業株式会社様を訪問しました。

6月15日に山形県山形市の菊地鋳業株式会社を訪問しました。当日は梅雨入りしたばかりの時期で曇りのやや肌寒い日でした。

菊地鋳業株式会社は昭和49年に菊地敬二社長が創業致しました。昭和56年に容器検査所を設立し、同時に全検連に入会致しました。61年に全検連の監事に就任、現在まで当協会の監事を引き受けています。

工場は国道に面した大変良い立地に在り、敷地は5,000㎡という広さです。佐藤心工場長に案内をして頂き工場見学をしました。今年は容器検査本数が減っているという報告でしたが、工場内は天井が高く採光も良く明るく感じました。聞くと以前は2階建ての工場で改修して今の工場になったとのことでした。

山形の名産は皆様ご存知のようにお蕎麦とさくらんぼです。工場見学の後で菊地社長にさくらんぼ農園を案内してもらいました。最盛期だと思いますがもう少し経つと色が真っ赤になるとの事、さくらんぼを枝から採って食べながら、いろいろとお話を伺うと一本の木から60万円位の収入があるらしい。ただしビニール屋根の手入れや雪や風などの天候への対策、また草刈りと消毒そして摘み取りと箱詰めなど大変だそうです。農園では佐藤錦の品種を食べましたがとても甘くおいしかったです。



菊地鋳業(株)の常務でした菊池弘樹様が事故でお亡くなりになってから今年でもう 3 年になります。ご仏前にお参りさせていただきました。

山形には 18 年前に 1 年半ほど赴任していたので市内を走ると情景が思い出され大変懐かしく思いました。ただ地方都市の現状なのか人通りが少ないようでした。

一日の日帰り訪問でしたが当協会役員の会社を知ることが出来、有意義でした。

菊池社長大変有難うございました。



専務理事 佐藤四郎